

SANUS®

VLF613壁掛金具 取扱説明書

----- 重量 56kg以下の薄型テレビの取り付けに適用 -----

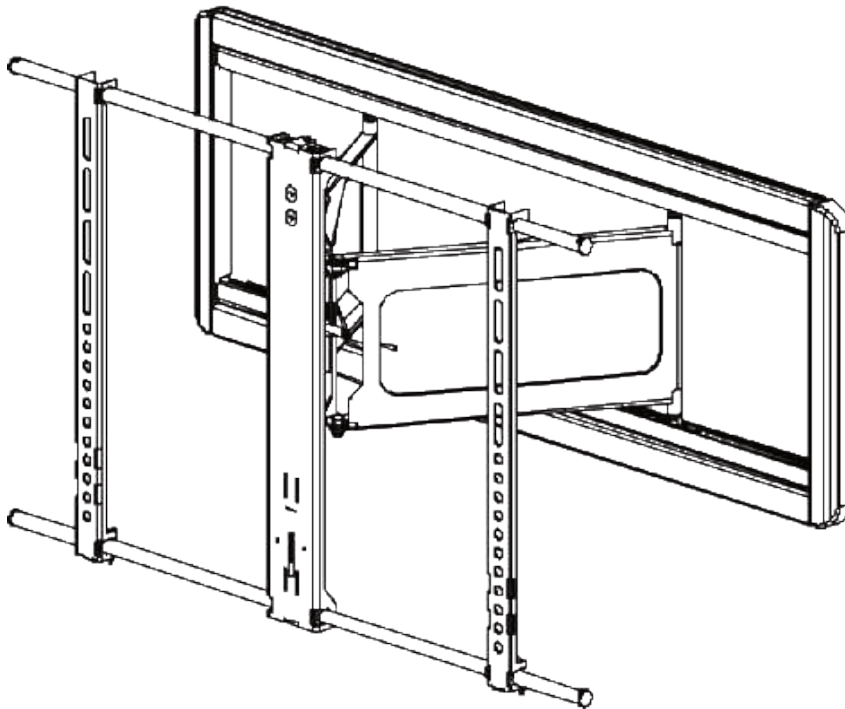
この度は、VLF613 壁掛金具をお買い上げ頂きましてありがとうございます。
VLF613 壁掛金具は 40V 型～ 80V 型の薄型テレビの取付用金具です。
ご使用前に、この「取扱説明書」をよくお読みの上、正しくご使用ください。
お読みになったあとは大切に保存してください。

本製品をご利用になるお客様へ

本製品の取り付けには、特別な技術や確実な作業が必要となります。必ず、販売店や工事店に依頼して、安全性に十分考慮して確実な取り付けを行って下さい。

販売店様・工事業者様へ

薄型テレビの取り付けには特別な技術が必要ですので、設置の際は取扱説明書をよくご覧の上、設置を行って下さい。取り付け不備や、取り扱い不備による事故や損傷については、当社では一切の責任を負いません。



Sanus Systems 輸入総代理店・発売元

NETWORK JAPAN

ネットワークジャパン株式会社

〒557-0045 大阪市西成区玉出西2丁目16-3

TEL 06-6105-0707 / FAX 06-6105-0708

<https://www.network-jpn.com/> E-mail: info@network-jpn.com

お問い合わせ・ご購入は、弊社正規販売店又は弊社営業窓口へ

安全上のご注意

お使いになる人や他人への危害、物的な損害を未然に防ぐため、必ずお守り頂きたい事項を説明します。表示内容を見逃して誤った使い方をしたときに生じる危害や物的損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。



警告 人が死亡又は重傷を負う恐れがある内容を示します。



注意 人がけがをしたり財産に損害を受ける恐れがある内容を示します。

お守りいただきたい内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。



人が死亡又は重傷を負う恐れがある内容を示します。(してはいけない禁止内容)



人がけがをしたり財産に損害を受ける恐れがある内容を示します。(実行すべき強制内容)



人がけがをしたり財産に損害を受ける恐れがある内容を示します。(気をつける内容)

警告



禁止

壁の強度は少なくともテレビと壁掛金具を合わせた重量の5倍の重量に耐える強度が必要です。VLF613壁掛金具は、40V型～80V型で、総重量56kg以下の液晶等の薄型テレビを、木柱又はコンクリート製の壁面に固定するためのものです。これらの最大耐荷重以上の薄型テレビの取り付けには絶対使用しないで下さい。又、木製やコンクリート以外の(鉄骨製などの)壁面には取り付け出来ません。この指定を守らないと、薄型テレビが落下して、けがをしたり、テレビが破損する原因となります。



工事専門業者以外の方は取り付け工事を行わないで下さい。専門業者以外の方が工事を行うと、工事の不備により落下してけがの原因になります。



取り付け強度は、安全のため十分余裕を取って下さい。強度が不足すると落下して死亡やけがの原因になります。



荷重に耐えられない場所には取り付けしないで下さい。強度の弱い壁や平面でなかったり垂直でない壁に取り付けると落下してけがの原因になります。



湿気やほこりの多いところや油煙や湯気の当たる場所や屋外には取り付けしないで下さい。又、エアコンの上や下にテレビを取り付けしないで下さい。テレビに悪影響をあたえたり、火災・感電の原因になります。



禁止

組み立ての手順を守り、指定の箇所はすべて確実にネジ止めして下さい。ネジ山の破損したネジや、さびたネジは絶対使わないで下さい。指定を守らないとテレビの取り付け後に破損や落下等、思わぬ事故の原因となることがあります。



テレビの取り付けや取り外し作業は2人以上で行って下さい。テレビが落下して、けがをしたりテレビが破損する原因となることがあります。



禁止

本製品には小さな部品が同梱しており、誤って飲み込むと窒息の危険性がありますので、お子様の近くにこのような部品を置かないで下さい。又、壁掛け金具の組み立ての際は、危険ですからお子様を周囲に近づけないで下さい。



取り付け作業の際は、テレビや周辺機器の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて下さい。感電の原因になったり、テレビや周辺機器を破損する恐れがあります。



組み立てる前に、すべての部品が揃っており、破損していないことを確認してください。足りない部品又は破損している部品のある場合は、ネットワークジャパン(株)に連絡して下さい。尚、破損した部品は、絶対にご使用しないで下さい。



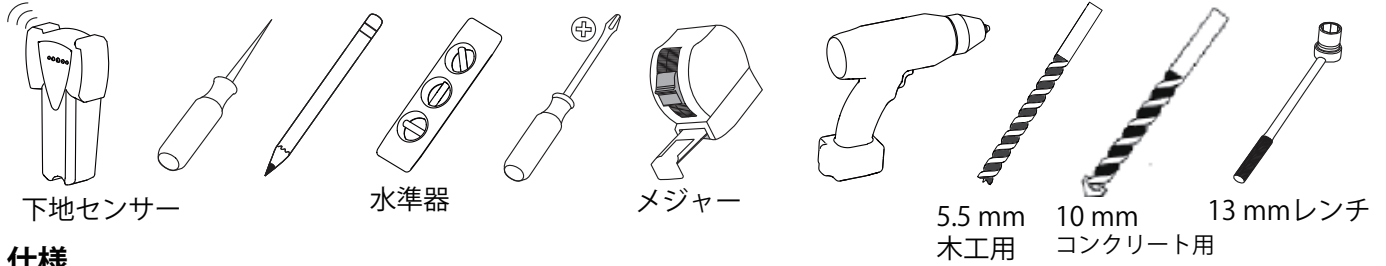
壁掛け金具を壁面に固定するネジは下記の部品表に記載してありますが、壁面の材質や強度によっては不適合な場合がありますので、その場合は市販の適切なネジを使って下さい。



ネットワークジャパン(株)は、不適切な組み立てや、使用により発生したけが等の傷害や、物品の損傷に対して一切の責任を負いません。

重要 本製品を使用する前に、この説明書をよくお読み下さい。又この説明書は、大切に保管して下さい。

必要な工具類



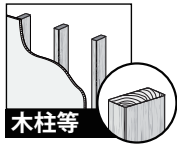
仕様

耐荷重 : 56kg (テレビと付属品を含みます)
 適応テレビサイズ: 40V 型~ 80V 型
 ※上記を超過しないようにして下さい。

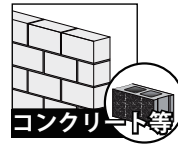
ティルト調整 : -10° $+0^{\circ}$
 左右首振り角度 : $\pm 25^{\circ}$

取付可能な壁面

※下記は一例です。実際の施工に関しては専門の工事業者様が専門的に壁面を診断の上、最適な工法を決めて施工して下さい。



★ 金具を取付ける柱の寸法は、取付ける面の幅 38mm 奥行 89mm 以上が必要です。
 ★ しっかりとした柱に固定された、厚さ 20mm 以上の構造合板など



★ コンクリート壁面の使用可能な最小厚さは、203mm 必要です。
 ★ コンクリートブロックの使用可能な最小のサイズは、203 X 203 X 406mm 必要です。
 (空洞や隙間のあるブロックには使用できません。)

注意: ケガをしたり、壁面を破損しないように次の点に注意して下さい。

- ★ 用途以外の目的で本製品を使用しないでください。
- ★ ご利用の壁面は、テレビと壁掛金具の総重量の5倍を支えられなければなりません。
- ★ 本製品は金属製柱の壁での使用には適していません。
- ★ ここに記載される内容が解らない場合、または製品の取り付け、組み立てや仕様、その他ご質問がある場合は、ネットワークジャパン(株)又は認定業者にお問い合わせください。
- ★ 付属の部品はすべて使用する必要はありません。ご利用の環境に合わせて必要な部品をお選びください。また、ご利用の環境によっては別途、お客様において部品をご用意いただく必要があります。

STEP 1 で使用する部品類

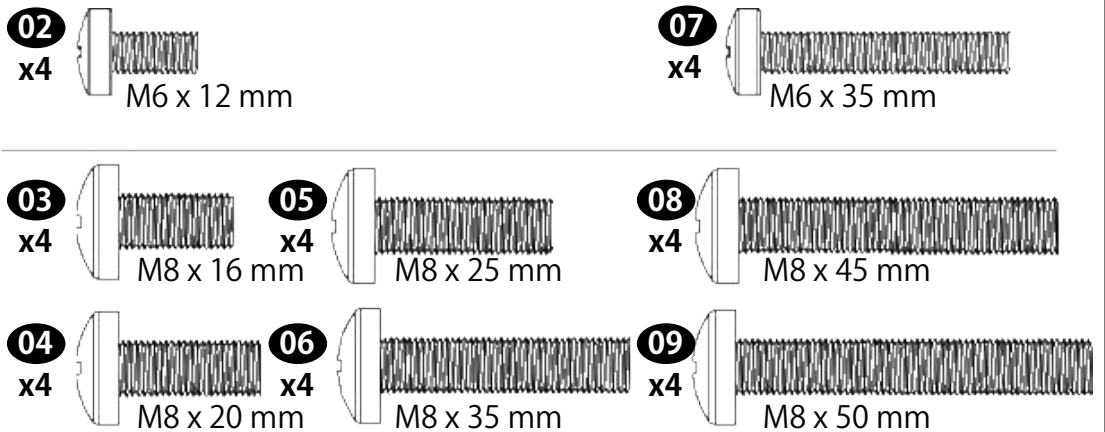


警告 : 本製品には小さい部品が付属しており、誤って飲み込むと窒息の危険性があります。

組み立てを始める前に、部品がすべてそろっており、破損していないことを確認してください。足りない部品または破損している部品がある場合は、ネットワークジャパン(株)までご連絡ください。破損した部品は絶対にご使用にならないでください。

注記: M4、M6、又は M8 は直径を指し、mm は「M# X ##mm」の表記において、ネジの長さを指します。付属の部品をすべてを使用するわけではありません。

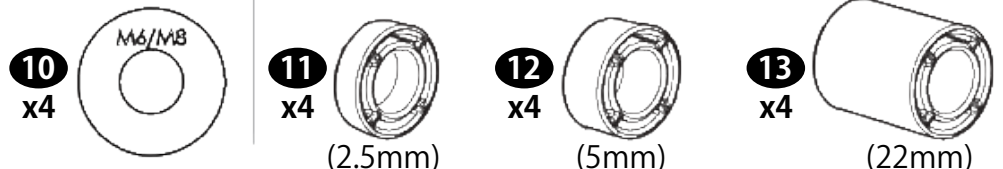
TV 取付けネジ類



ワッシャー



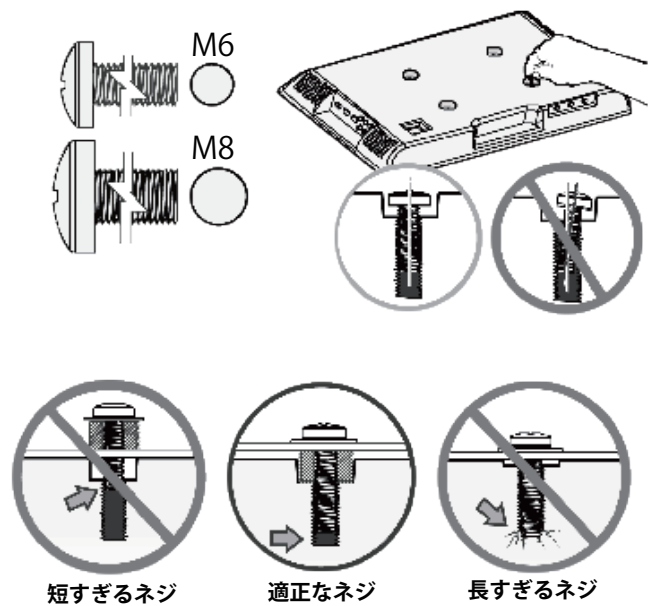
TV取付スペーサー



STEP 1 ブラケットをテレビに取り付ける

1-1 テレビ取付用ネジの口径と長さの選択

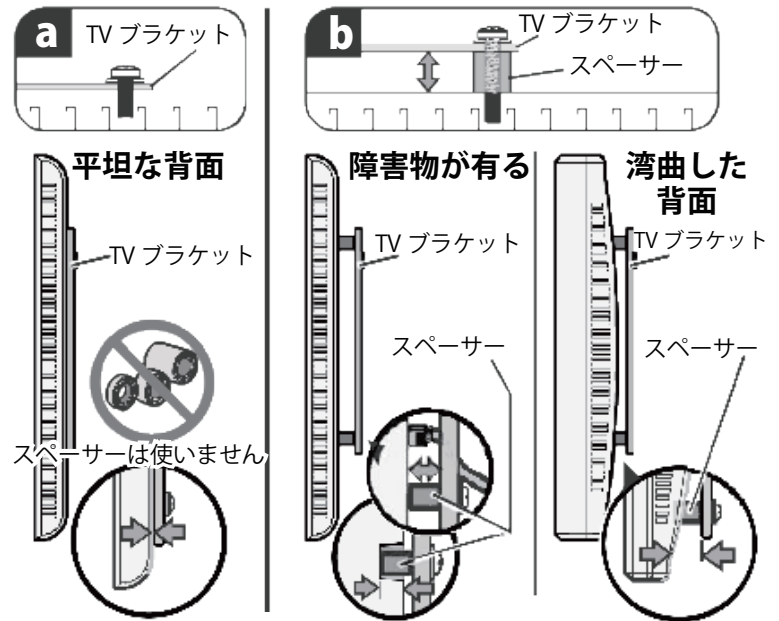
1-2 スペーサーの選択



お使いのテレビのネジ穴の形状によって、使用する部品が決まります。テレビの背面のネジ穴に手でネジを入れて、適合する正しいネジの直径 (M6 又は M8) を確認して下さい。ご使用のテレビに対して、ネジやスペーサーを組み合わせ、適正なネジ山のかみ合わせを確認して下さい。

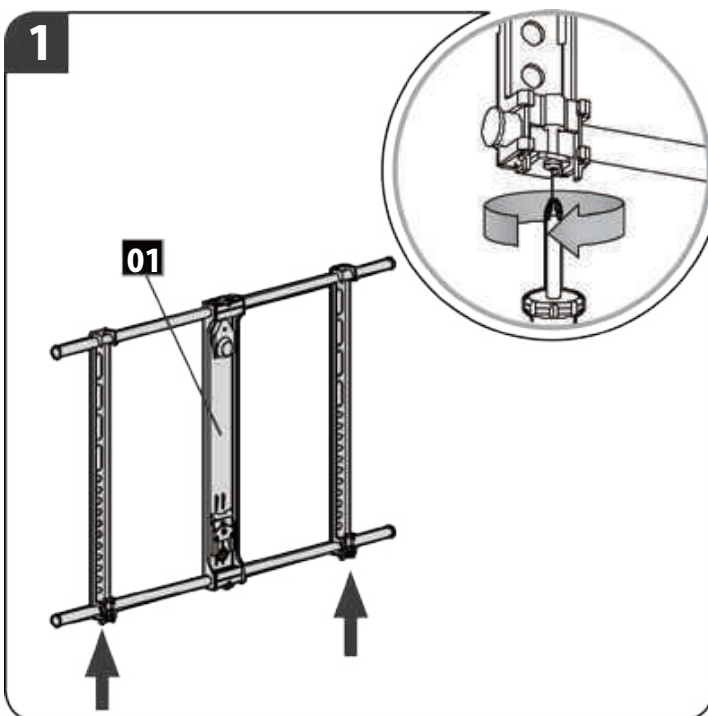
※テレビのネジ穴の深さにより、スペーサーを使う必要の無い場合もあります。

※同梱のネジ以外の長さが必要な場合には、別途市販のネジを各自でご用意ください。

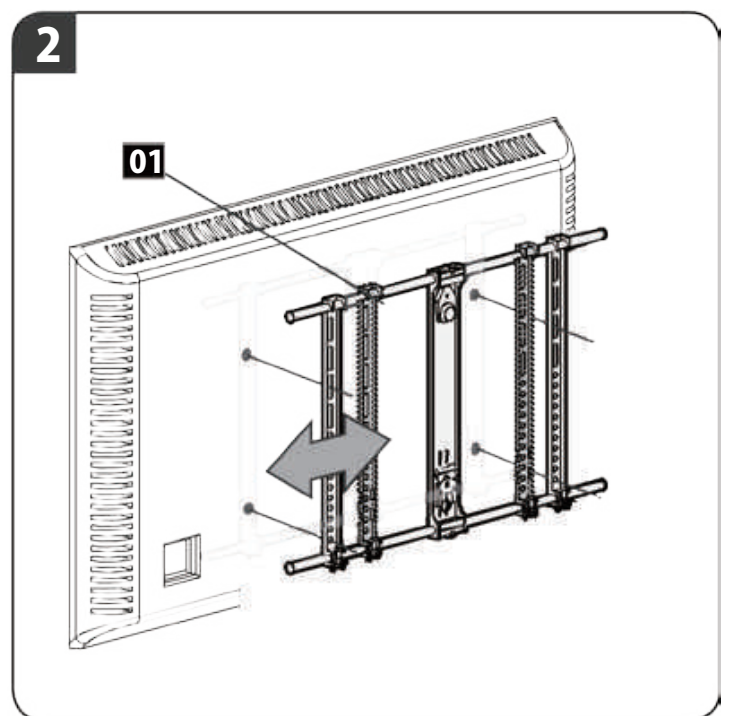


ご使用のテレビに併せて、適切なスペーサーを選択してください。

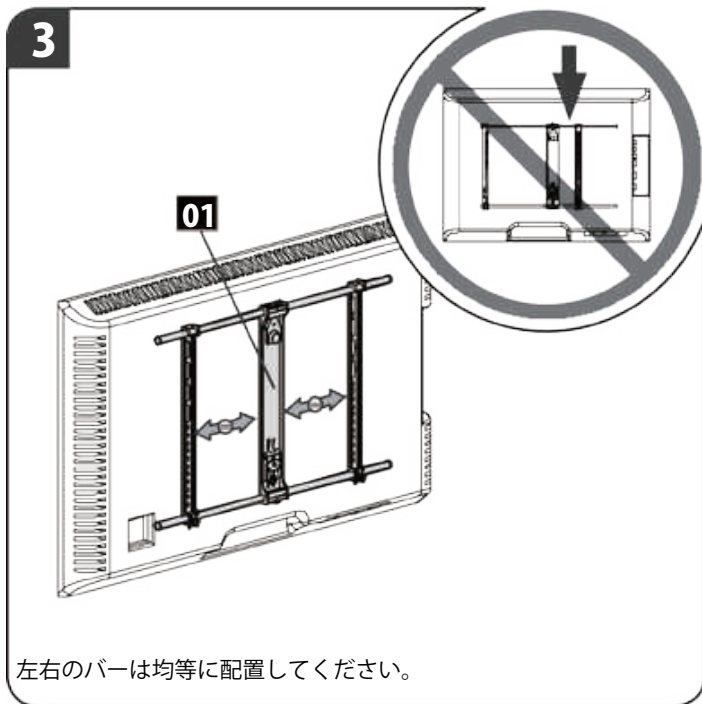
1-3 TVブラケットの取り付け



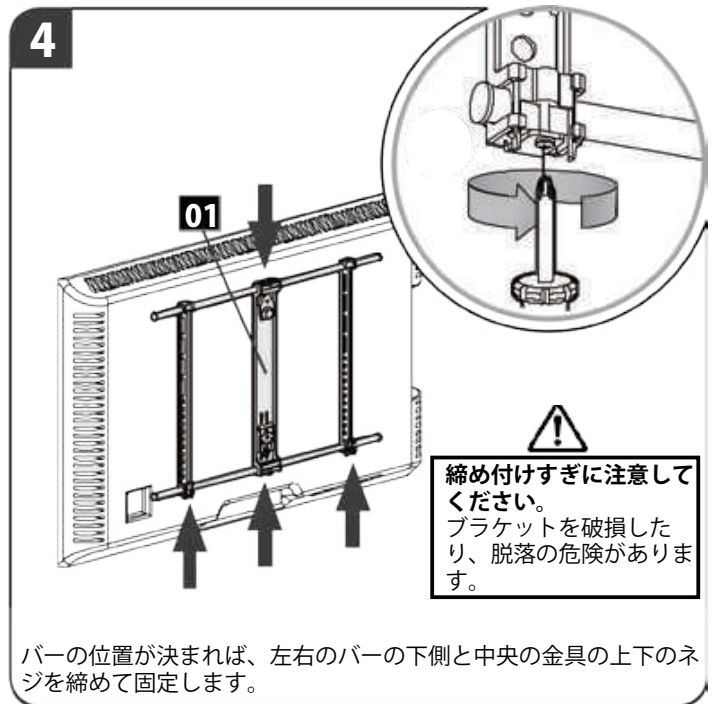
(1) 図のように、TV ブラケット [01] の両端のバーの下部についているネジを緩めてバーが自由にスライドできるようにします。



(2) 図のように、テレビの背面に TV ブラケット [01] をあてがい、TV ブラケット [01] の両端のバーをテレビのねじ穴の位置に合わせます。

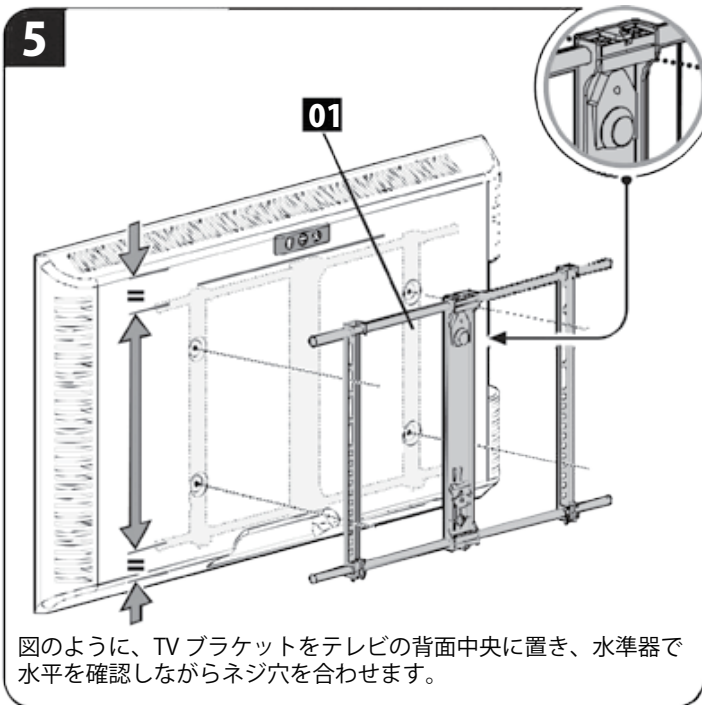


左右のバーは均等に配置してください。

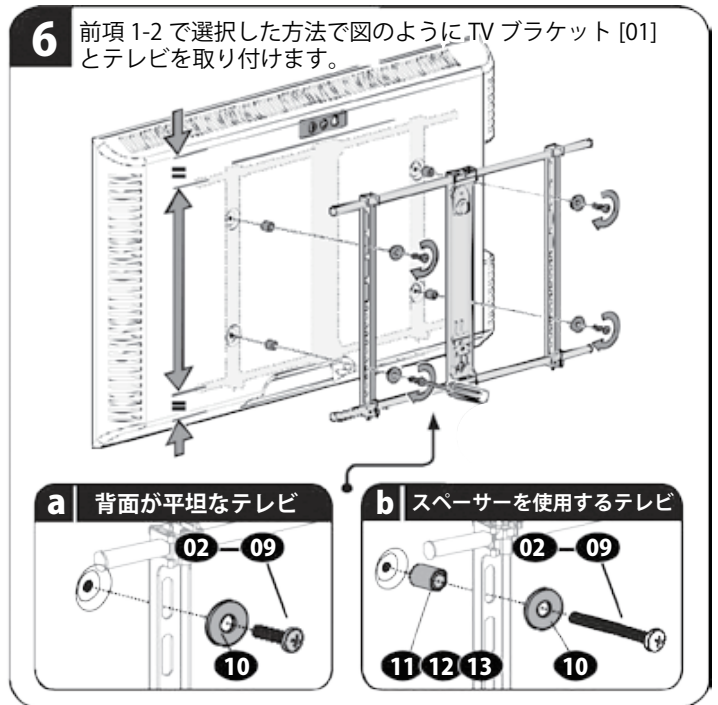


締め付けすぎに注意してください。
 ブラケットを破損したり、脱落の危険があります。

バーの位置が決まれば、左右のバーの下側と中央の金具の上下のネジを締めて固定します。



図のように、TV ブラケットをテレビの背面中央に置き、水準器で水平を確認しながらネジ穴を合わせます。



a 背面が平坦なテレビ

b スペースを使用するテレビ

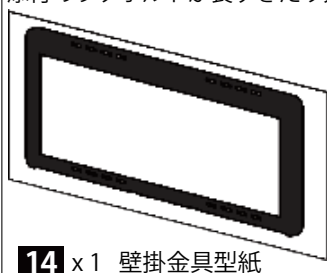
STEP2 壁掛金具を壁面に取付ける

木柱壁に取り付ける場合は、6ページのSTEP 2Aに従って固定します。コンクリート壁に取り付ける場合は、7ページのSTEP 2Bに従って固定します。

STEP 2で使用する部品類

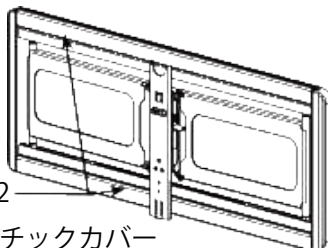
警告 : 本製品には小さい部品が付属しており、誤って飲み込むと窒息の危険性があります。

組み立てを始める前に、部品がすべてそろっており、破損していないことを確認してください。足りない部品または破損している部品がある場合は、ネットワークジャパン（株）までご連絡ください。破損した部品は絶対にご使用にならないでください。添付のラグボルトが長すぎたり太すぎる場合には、専門的に強度を考えて市販の木ネジなどをご使用ください。

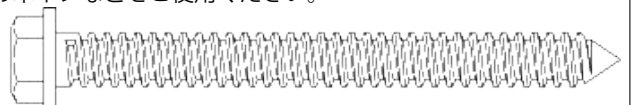


14 x 1 壁掛金具型紙

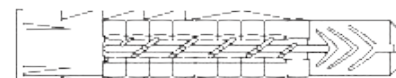
15 x 1 壁掛金具



16 x 2 プラスチックカバー



17 x 4 ラグボルト (5/16 in. × 3 1/2 in.)



18 x 4 コンクリートアンカー

注記: 付属の部品をすべて使用するわけではありません。

STEP 2 A

壁掛金具を取り付ける --- 木柱への取付例 ---

警告: 壁掛金具を取り付ける壁面は、壁掛にするテレビと壁掛金具の総重量の5倍の重量を、保持する強度が必要です。各家屋毎に壁面の構造や強度が異なりますので、工事業者様が専門的に壁面を診断の上、最適な工法を決めて施工して下さい。下記の「木柱壁」への取り付けの説明は、工事方法の一例として参考にして下さい。
なお、本壁掛金具は、木柱の無い石膏ボード自体や鉄柱・鉄骨には取り付けできません。これらの取付対象外の壁面に取付けると、テレビが落下してけがや損傷事故の発生する場合があります。

施工の条件: ★ 壁面を覆う石膏ボードや壁面パネル・壁紙等の厚みは、16 mm 以下にしてください。

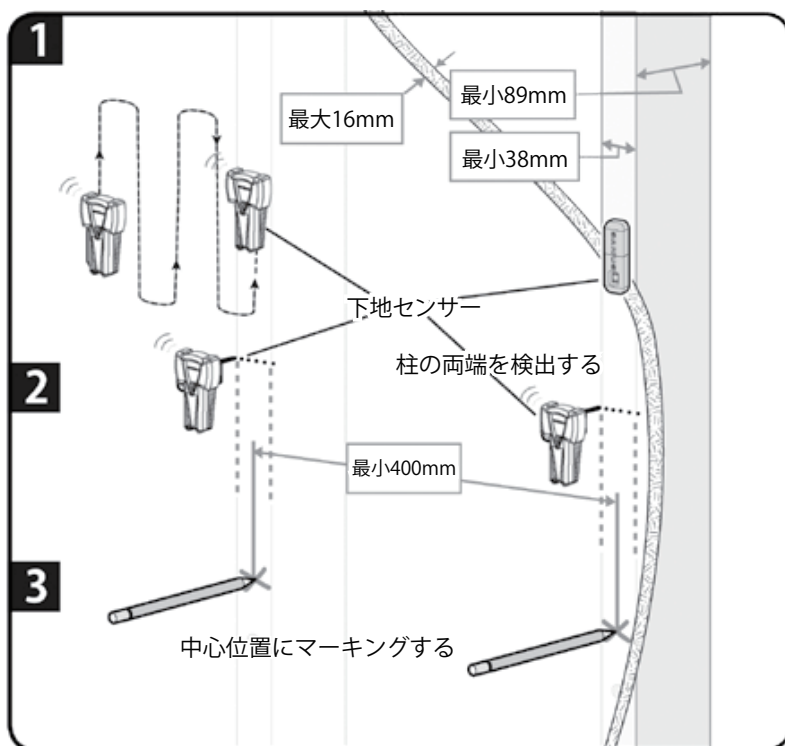
★ 金具を取付ける柱の寸法は、取付ける面の幅 38mm 奥行き 89mm以上が必要です。

★ 柱と柱の間隔は、400mm 以上空けて下さい。

★ 柱の中心位置は、必ず確認してください。各家屋毎の柱の寸法は必ずしも規格のサイズではありません。

注記: 下地センサー（木柱センサー）は壁の中にある下地材をセンサーで感知して知らせてくれるものです。

下記の1～3は、下地センサーを用いた柱位置検出方法の一例です。詳細はご使用の下地センサーの取扱説明書に従って下さい。

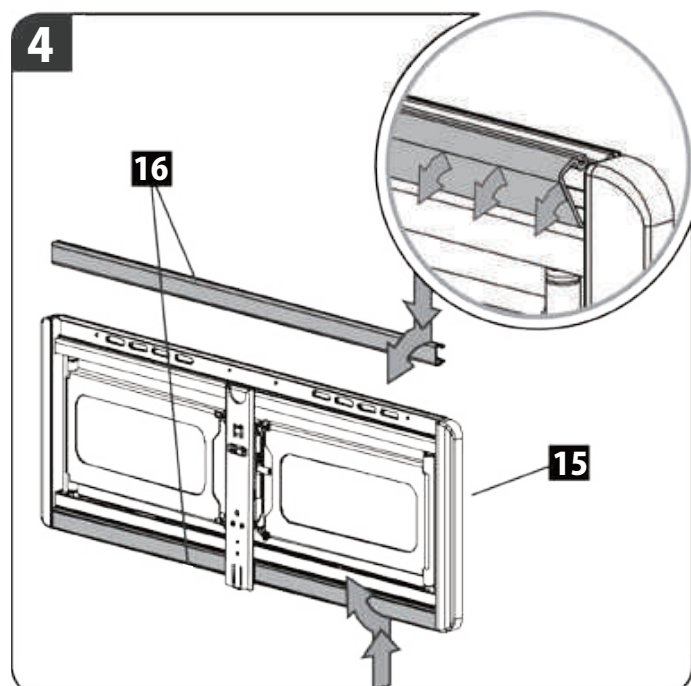


(1) 下地センサーや、千枚通しや、細い釘などを使って、右図の様に柱の位置を確認します。

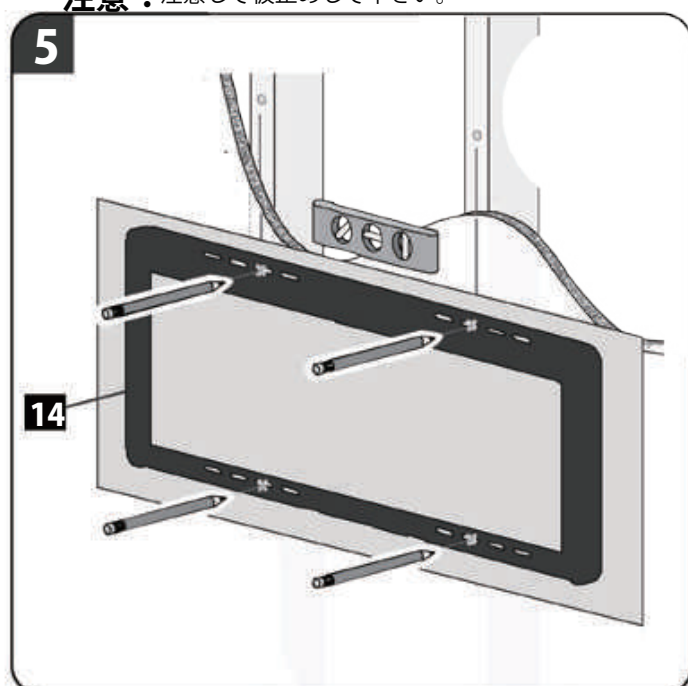
(2) 下地センサーを左右に動かすと、柱の端を検知するので、マーキングします。

(3) 二つのマーキング（両端）から柱の中心位置にマーキングを付けます。

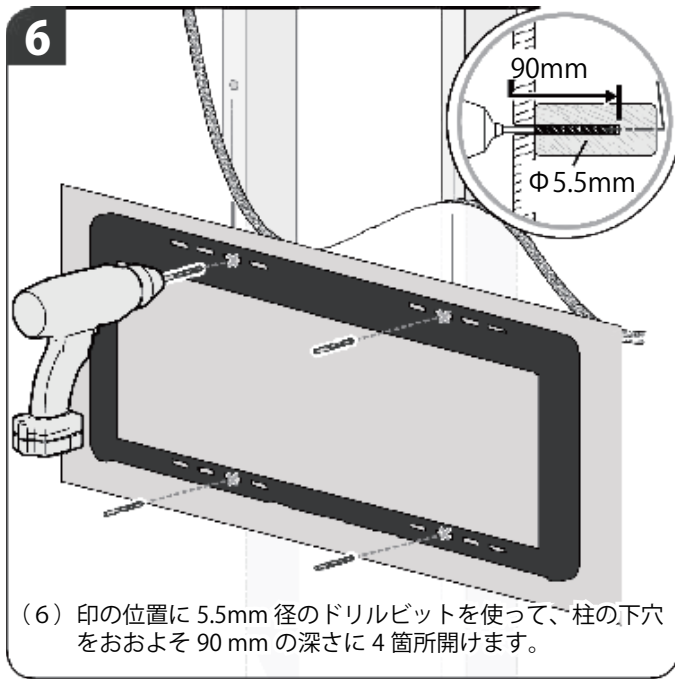
注意: 下穴を開ける位置は、必ず柱の中心になるように注意して仮止めて下さい。



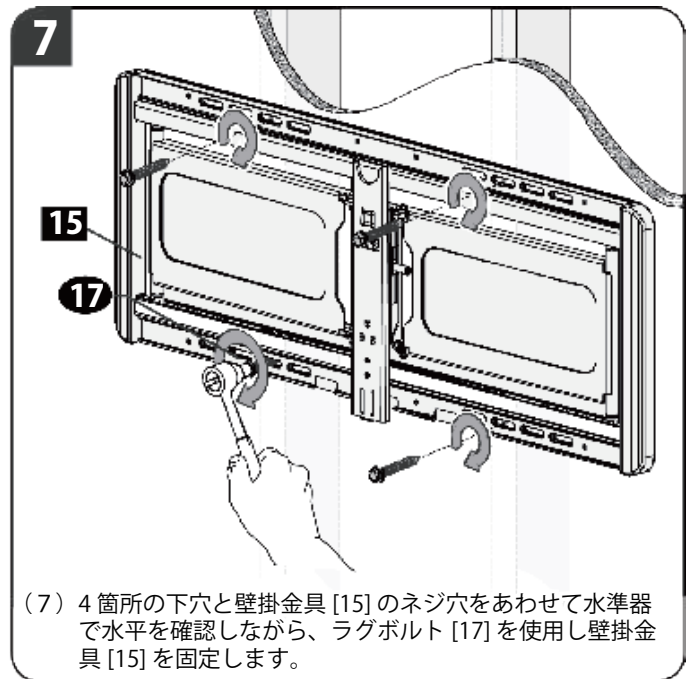
(4) 図のように、壁掛金具 [15] についているプラスチックカバー [16] を取り外します。



(5) 壁掛金具型紙 [14] をご希望の高さに置き、下穴を開ける位置が柱の中心位置に来るように位置決めします。その後、壁掛金具型紙 [14] を水準器で水平度を確認しながら、図のように4か所に印を付けます。



(6) 印の位置に 5.5mm 径のドリルビットを使って、柱の下穴をおおよそ 90mm の深さに 4 箇所開けます。



(7) 4 箇所の下穴と壁掛金具 [15] のネジ穴をあわせて水準器で水平を確認しながら、ラグボルト [17] を使用し壁掛金具 [15] を固定します。

STEP 2 B コンクリート又はコンクリートブロック壁面への取付例 ---

警告: 壁掛金具を取り付ける壁面は、壁掛にするテレビと壁掛金具の総重量の5倍の重量を、保持する強度が必要です。各家屋毎に壁面の構造や強度が異なりますので、工事業者様が専門的に壁面を診断の上、最適な工法を決めて施工して下さい。下記の「コンクリート又はコンクリートブロック壁面」への取り付けの説明は、工事方法の一例として参考にして下さい。

なお、本壁掛金具は、空洞のあるコンクリートブロックや下記の基準以下の厚みの壁面、鉄柱・鉄骨には取り付けできません。これらの取付対象外の壁面に取り付けると、テレビが落下してけがや損傷事故が発生する場合があります。

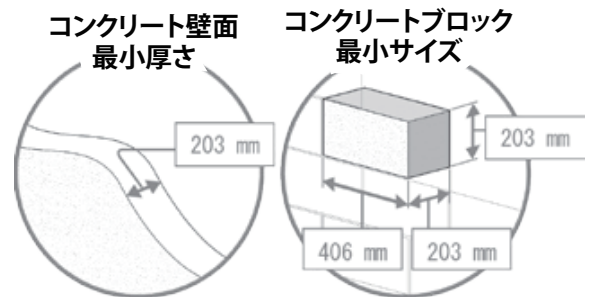
施工の条件： ★ 壁掛金具[15] は、直接コンクリート又はコンクリートブロック表面に取り付けて下さい。

★ コンクリート壁面の使用可能な最小厚さは、203mm 必要です。

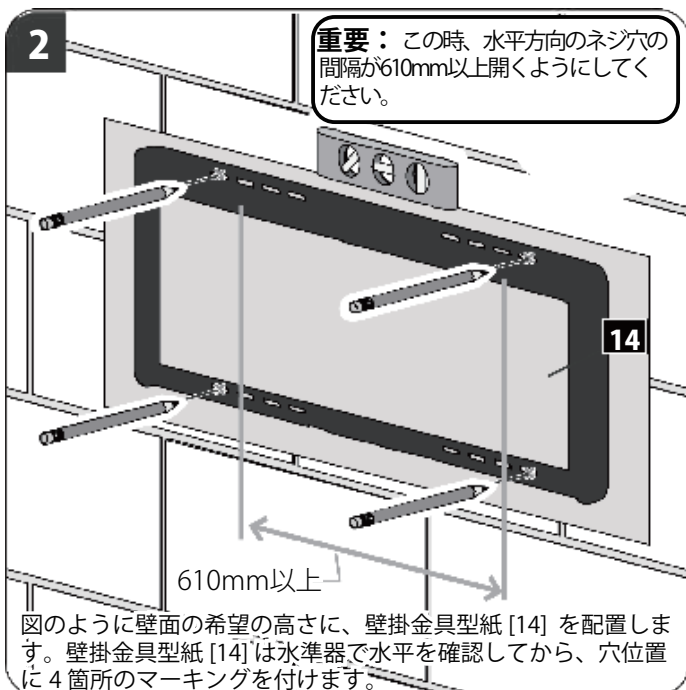
★ コンクリートブロックの使用可能な最小のサイズは、203 X 203 X 406mm 必要です。

(空洞のあるものには使用できません。)

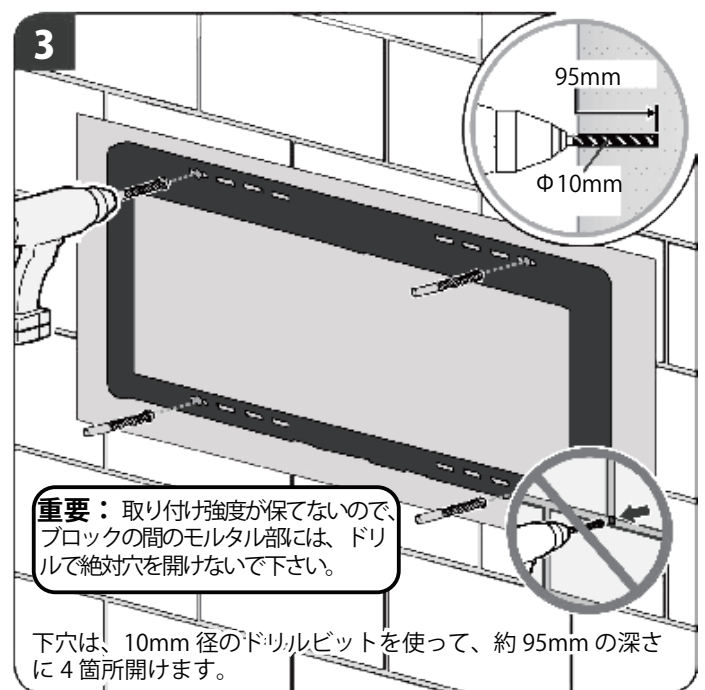
★ 水平方向のネジ穴の間隔は、610mm以上空けて下さい。



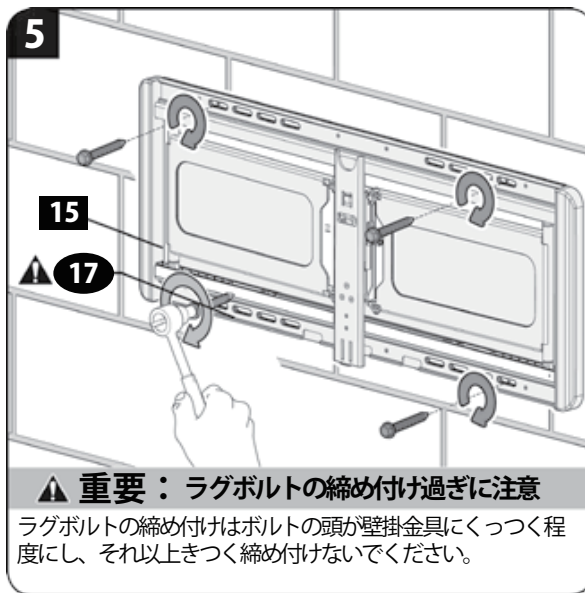
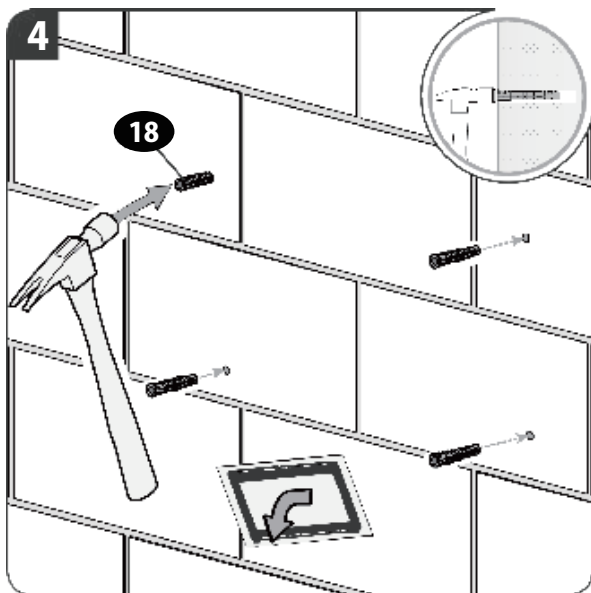
1 6 ページの 4 図のように、壁掛金具 [15] についているプラスチックカバー [16] を取り外します。



図のように壁面の希望の高さに、壁掛金具型紙 [14] を配置します。壁掛金具型紙 [14] は水準器で水平を確認してから、穴位置に 4 箇所のマーキングを付けます。



下穴は、10mm 径のドリルビットを使って、約 95mm の深さに 4 箇所開けます。



4. 前ページの3.で開けた下穴にコンクリートアンカー [18] を打ち込みます。この時、コンクリートアンカーは壁から出っ張らないようにしっかりと打ち込んでください。

5. 壁掛金具 [15] の取り付け穴に、ラグボルト [17] を使用し、コンクリートアンカー [18] にねじ込んで固定します。

▲ 重要：ラグボルトの締め付け過ぎに注意

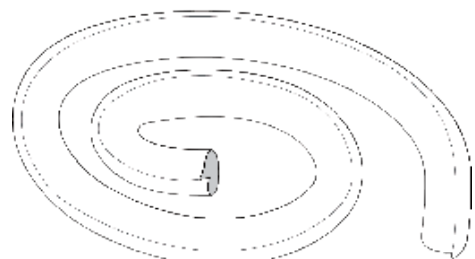
ラグボルトの締め付けはボルトの頭が壁掛金具にくっつく程度にし、それ以上きつく締め付けしないでください。

STEP3 テレビを壁掛金具に取り付ける

STEP 3以降で使用する部品類

⚠ 警告 : 本製品には小さい部品が付属しており、誤って飲み込むと窒息の危険性があります。

組み立てを始める前に、部品がすべてそろっており、破損していないことを確認してください。足りない部品または破損している部品がある場合は、ネットワークジャパン（株）までご連絡ください。破損した部品は絶対にご使用にならないでください。



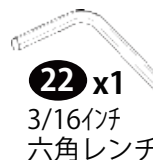
19 x1 ケーブルカバー



20 x1 ケーブルホルダー



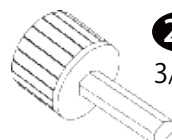
21 x1 固定ネジ



22 x1 3/16インチ六角レンチ

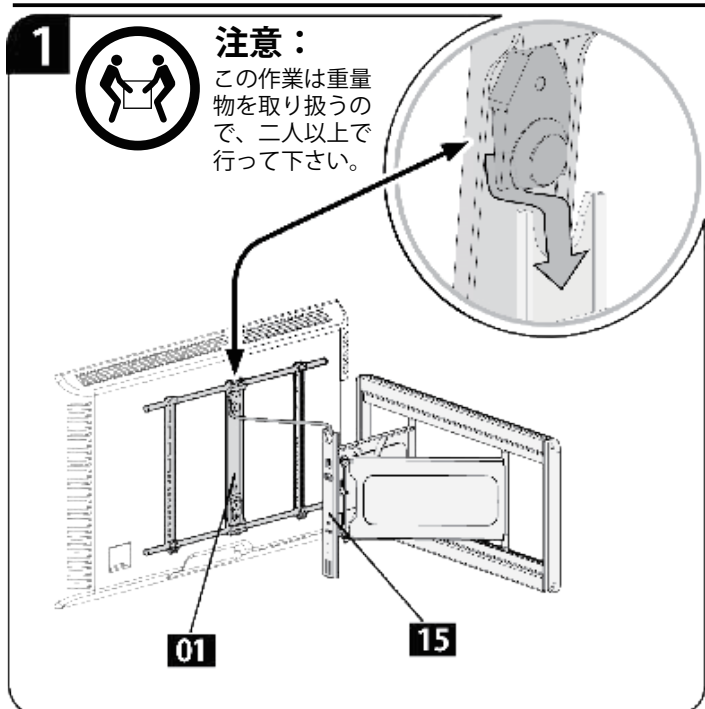


24 x1 5/32インチ六角レンチ

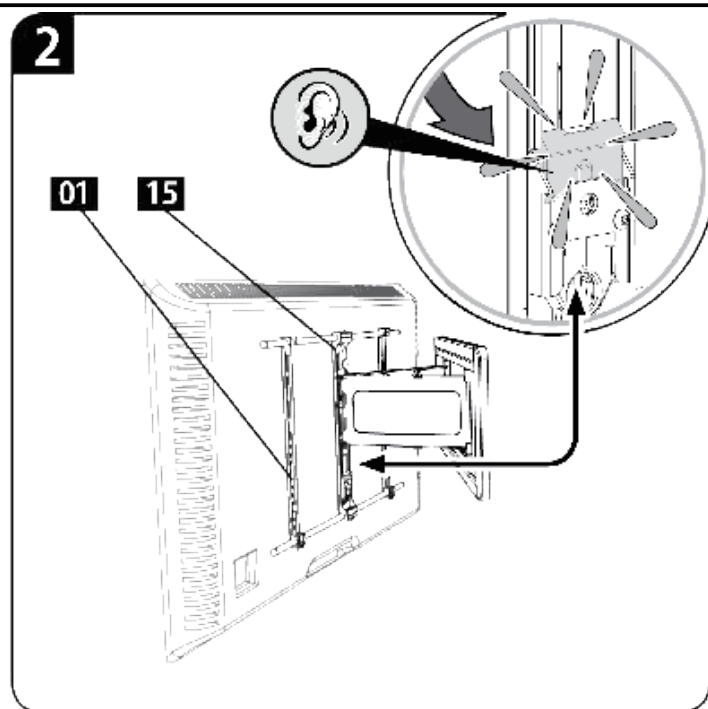


23 x1 3/16インチ六角レンチノブ

3-1 TVブラケットを壁掛金具に取付ける

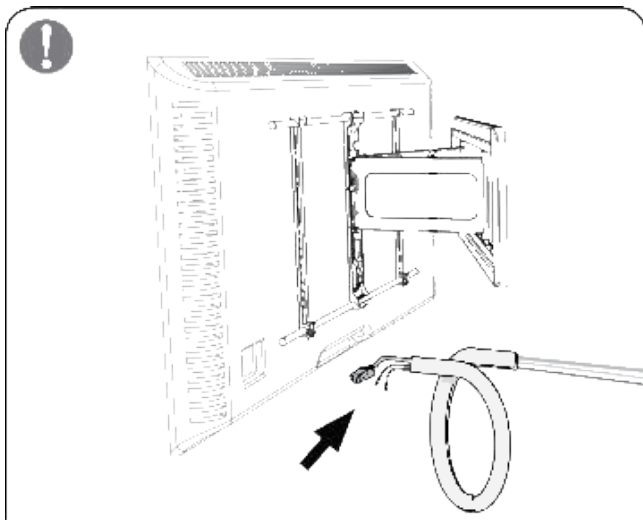


注意：
この作業は重量物を取り扱うので、二人以上で行って下さい。

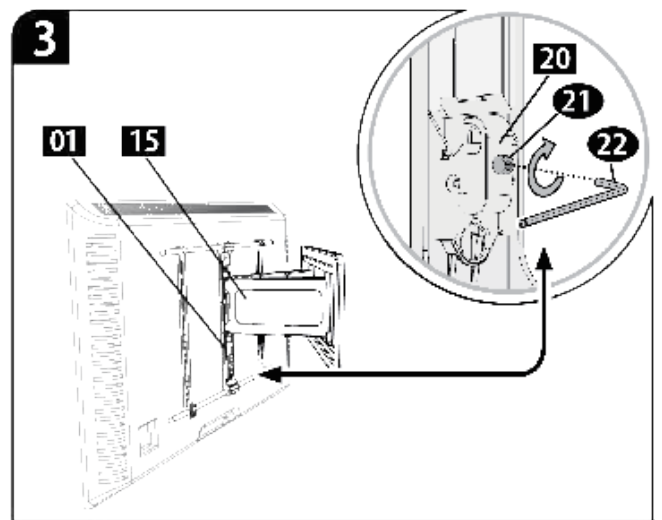


1. 図のように、TV ブラケット [01] を壁掛金具 [15] に取り付けます。

2. この時、TV ブラケット [01] のロック部分がカチッと音がして吻合するまで、壁掛金具 [15] にしっかりと差し込んでください。



重要：下記【3-2】のケーブルマネージメントを使用しない場合には、右項3. を行い【3-3】に進んでください。ケーブルマネージメントを使用する場合は右項3. を飛ばして【3-2】へ進んでください。

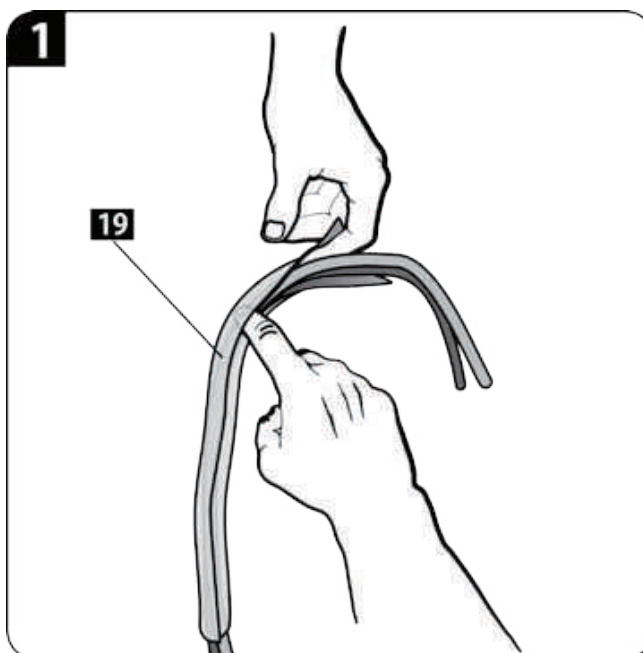


⚠ この工程は非常に重要で必要な工程です。

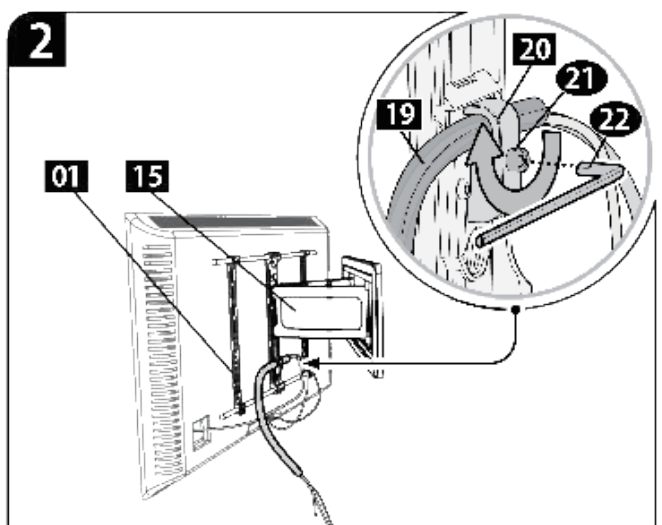
テレビの脱落を防止する上で非常に重要な工程です。ケーブルマネージメントを使用しない場合でも必ず実行してください。

3. ケーブルホルダー [20] を、3/16インチ六角レンチ [22] を使用して固定ネジ [21] でTV ブラケット [01] にしっかり固定します。

3-2 ケーブルマネージメント



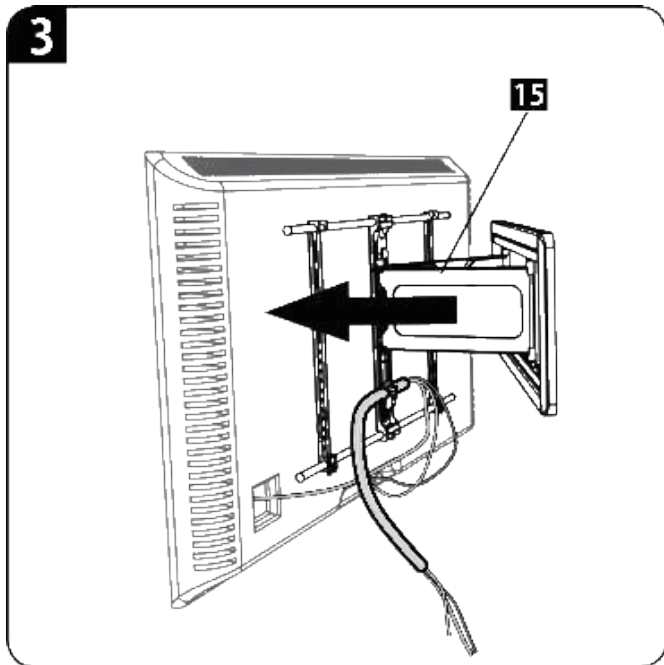
1. 電源やアンテナケーブルなどを、図のようにケーブルカバー [19] に差し込みます。



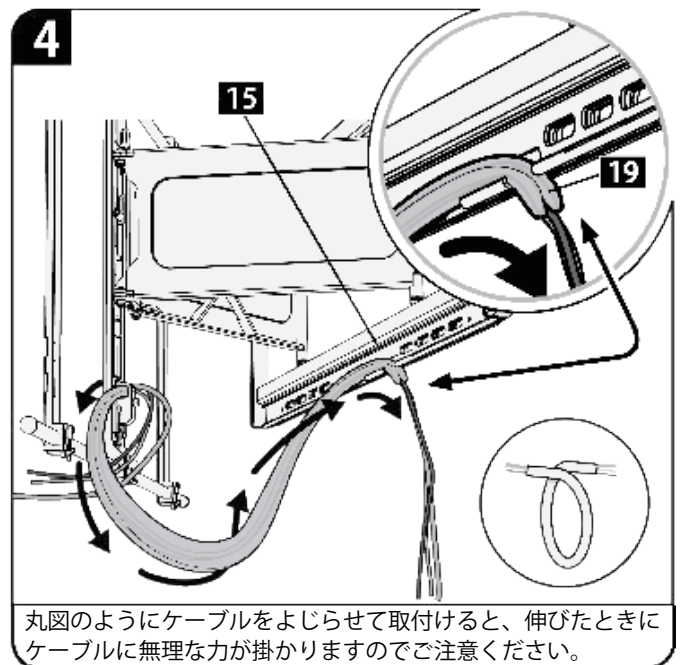
⚠ この工程は非常に重要な工程です。

テレビの脱落を防止する上で非常に重要な工程です。

2. ケーブルホルダー [20] にケーブルカバー [19] を通して、3/16インチ六角レンチ [22] を使用して固定ネジ [21] でTV ブラケット [01] にしっかり固定します。



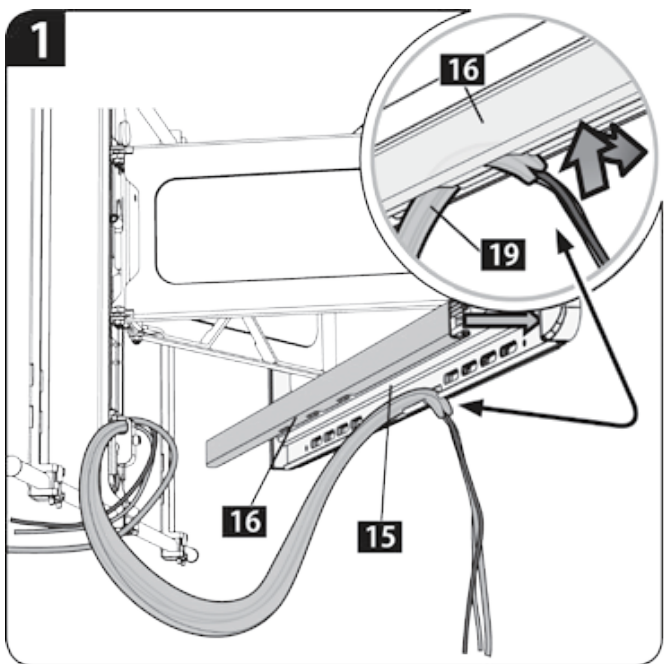
3. 図のように、壁掛金具 [15] のアームをいっぱい引き出します。



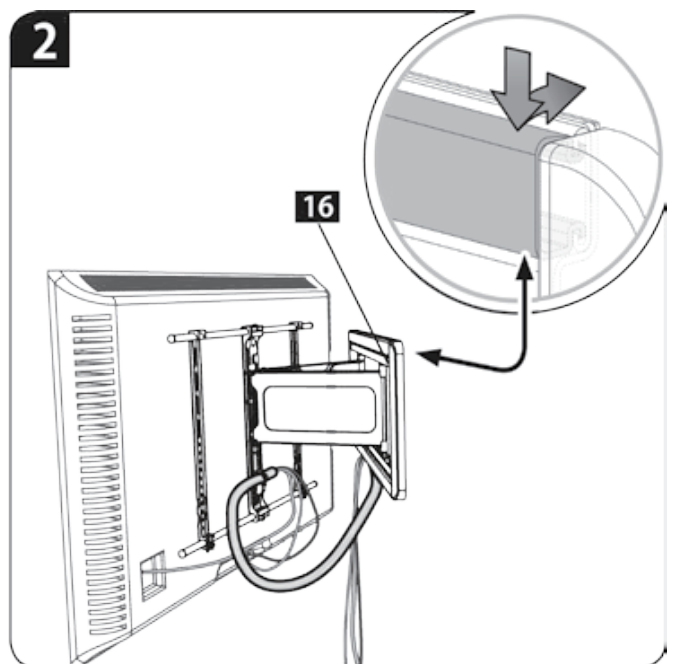
丸図のようにケーブルをよじらせて取付けると、伸びたときにケーブルに無理な力が掛かりますのでご注意ください。

4. 図のように、壁掛金具 [15] を一杯に引き出した時にも余裕が出るようにケーブルを弛ませて、ケーブルカバーを壁掛金具 [15] の溝にかけるように通します。

3-3 プラスチックカバーをもどす



1. 下側のカバーは、図のように壁掛金具 [15] の下側の溝にカバーの下側をはめてからカバーの上側を押し込むようにはめます。



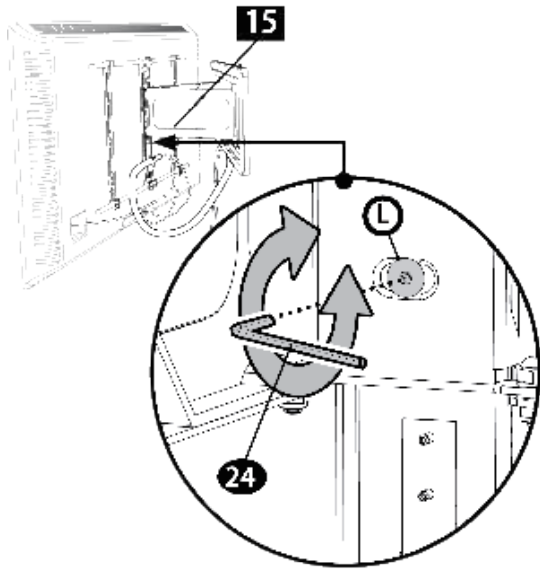
2. 上側のカバーは、図のように壁掛金具 [15] の上側の溝にカバーの上側をはめてからカバーの下側を押し込むようにはめます。

STEP4 視野角の調整



水平度の調整

図の (L) のネジを緩めると、多少の水平度の調整ができます。

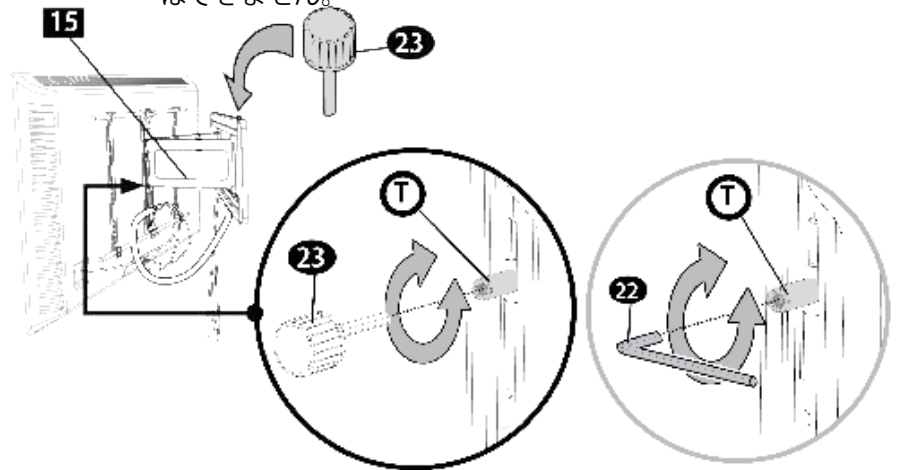


ティルティング機能の固さ調整

図の (T) ネジを調整することにより、壁掛金具 [15] のティルティング調整の固さを設定できます。このネジを緩めると、テレビを軽く手で傾くように設定できます。その場合には、3/16インチ六角レンチ [23] を使います。また、固くネジを締めたいときは 3/16インチ六角レンチ [22] で締め付けてください。

※この時、あまりきつく締めすぎると部品が損傷しますのでご注意ください。

※構造上、完全にティルティングしないように固定することはできません。



STEP5 壁掛金具からの取り外し



注意：

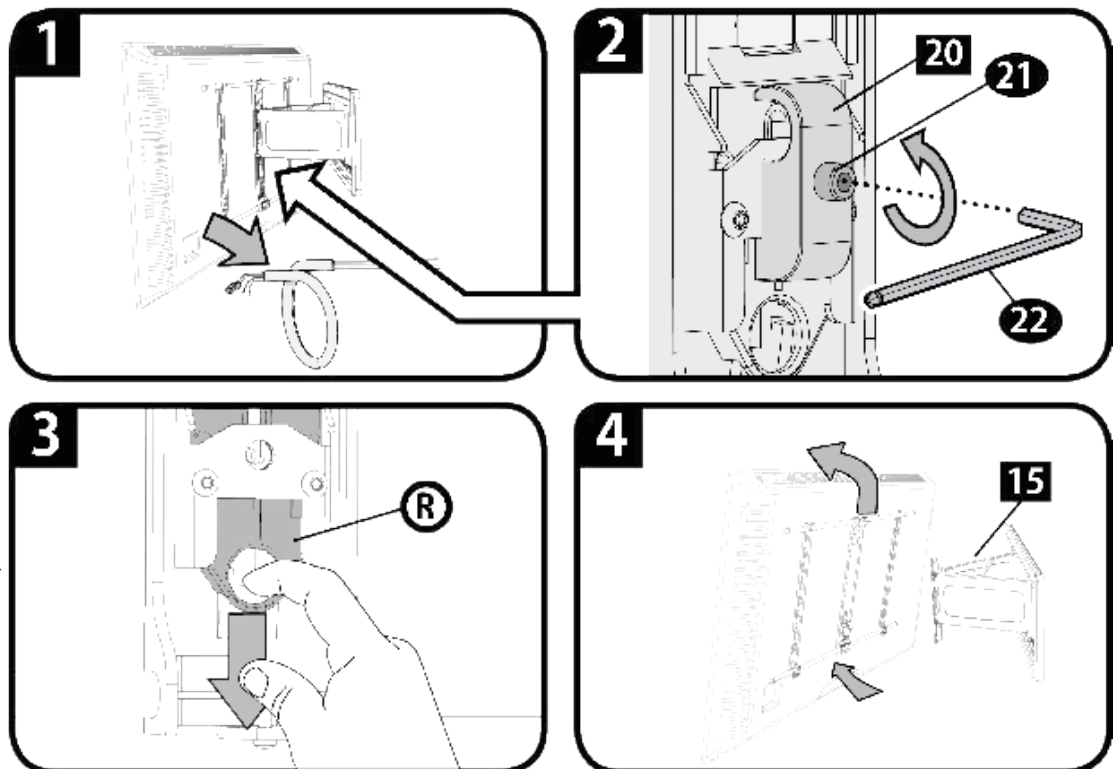
この作業は重量物を取り扱うので、二人以上で行って下さい。

1. テレビ背面のケーブルを取り外します。

2. 3/16インチ六角レンチ [22] を使用して、固定ネジ [21] を緩めて、ケーブルホルダー [20] を取り外します。

3. リリースレバー [R] 部を引き下げてロックを解除します。

4. テレビの下から持ち上げるようにし、壁掛金具 [15] からテレビを取り外します。



外觀圖

單位：mm

